



器具の使用方法的説明を受ける団員



市消防団 第5分団長
市川誠さん（豊科田沢）

救助破壊器具を生かせるよう、一人でも多くの団員が訓練を重ねて、災害に備えたいと思います。



旧豊科支所で合同訓練

消防

市消防団

―初の救助破壊訓練―

豊科地域と堀金地域を管轄する市消防団第1・第4ブロック各分団は8月7日、総務省から貸与された救助破壊器具による訓練を旧豊科支所で初めて行いました。当日は、団員約30人が参加。豊科消防署特別救助隊員の指導を受け、解体中の支所の内壁やドアをエンジンカッターなどで実際に切断しました。

訓練は、団員が地震発生時に倒壊家屋での救助活動を想定したものです。災害時、消防署が到着する前に地域の消防団が迅速に救助活動に着手することができ、今後、火災以外での救助面で消防署と連携強化が期待できます。

災害に強いまちづくりへ

市総合防災訓練実施



捜索救出搬送訓練



倒壊建物救助訓練



閉会式

市内震度6弱を想定
―マルチコプターで偵察も―
本年度の市総合防災訓練が9月4日、県民豊科運動広場を主会場に行われました。当日は、自主防災組織や、市消防団、市と災害協定を結ぶ市医師会など計24の団体、企業から約650人が参加しました。
訓練では、市内のほぼ全域で震度6弱の地震が発生したことを想定し、避難所運営訓練や倒壊家屋からの救出訓練などが行われました。閉会式で宮澤市長は「共助の要となる地域防災力の向上に向け、今後も自主防災組織での積極的な訓練をお願いしたい」とあいさつしました。また、今回、小型のラジコンヘリ「マルチコプター」（ドローン）を使った上空偵察訓練も初めて行われました。

防災

募集

消防団サポート プロジェクト登録店

地域の安全安心のために活動する消防団員を応援する「消防団サポートプロジェクト」サポート店を募集しています。登録すると表示証が交付され、店舗に表示することができ、事業所の地域貢献活動の一つとして活用できます。申請書は、危機管理課または市ホームページから入手できます。



表示証（見本）

図危機管理課消防防災係

TEL 72・6769 FAX 72・6739

募集

10月入団 市消防団員

消防団員は、他に仕事を持ちながらボランティアとして活動しています。

活動内容は火災予防広報、消火活動、行方不明者の捜索、大雨時の水防活動、お祭り等の警備など多岐にわたります。あなたも消防団活動に参加してみませんか。



図危機管理課消防防災係

TEL 72・6769 FAX 72・6739

自主 防災

宝くじの助成金で 防災備品を整備しました

東小倉区自主防災会では、公益財団法人長野県市町村振興協会が実施している「地域活動助成事業」を活用し、防災備品を整備しました。この事業は、市町村振興宝くじ（サマージャンボ）の収益金を財源としており、宝くじの社会貢献広報事業の一環として地域社会の健全な発展と住民福祉の向上を目的に行われています。



整備した東小倉区の防災備品

図地域づくり課まちづくり推進係

TEL 71・2494 TEL 72・3176

備える

地震に備えて 家具などの固定を

本年は、熊本県で震度7の地震が発生しました。命を守り、けがをしないためには、日ごろからの備えが必要です。次の項目を家族で一度確認しましょう。

- ▷転倒、落下防止のため家具類を固定する。
- ▷倒壊防止のため家屋やコンクリート塀、ブロック塀の補強をする
- ▷火災に備え、消火器を準備し、浴槽に水を張っておく。
- ▷食料、日用品、衣類等の非常持ち出し品を備えておく。
- ▷避難場所、安否確認の方法、避難経路を決めておく。

図危機管理課危機管理担当

TEL 71・2119 TEL 72・6739

豊科消防署 TEL 72・3145

穂高消防署 TEL 82・3262

梓川消防署 TEL 78・2090

明科消防署 TEL 62・2992